IV 採点・評価基準

1 小論文

次の学部・学科等で小論文を課し、それぞれ修学上必要な能力をみます。

- (1) 法文学部法経社会学科法学コース
法律学、政策学及び政治学を学ぶうえで必要な基礎的素養の有無を問います。
- (2) 法文学部法経社会学科地域社会コース・経済コース
日本の経済や社会についての関心を問う小論文により、日本語による表現力をみます。
- (3) 法文学部人文学科多元地域文化コース
人文科学を学習するための基礎的教養・素養を問います。

2 面接

次の学部・学科等で面接を課します。

学部・学科等		面接の形態		面接時間 (分)	評価事項	
		個人面接	面接員数 (人)			
法文学部	法経社会学科	法学コース	○	2～3	15	日本語能力、法律に対する一般的関心・素養、志望動機等
	法経社会学科	地域社会コース・経済コース	○	2～3	15	志望動機、学習意欲、日本語会話能力等
	人文学科	多元地域文化コース	○	2～3	15	志望動機、学習意欲、日本語会話能力等
	人文学科	心理学コース	○	2～3	15	志望動機、学習意欲、日本語会話能力等
教育学部			○	2～8	15	志望動機、学習意欲、日本語会話能力等
理学部			○	3～5	20	基礎知識、志望動機、学習意欲、日本語会話能力等
医学部	医学科 ^{※1}		○	4	20	志望動機、日本語会話能力、学習意欲等
	保健学科		○	3	30	志望動機、日本語会話能力、学習意欲等
歯学部 ^{※2}			○	3	25	日本語能力、志望動機等
工学部			○	3～5	15	基礎知識、日本語能力、志望動機、学習意欲等
農学部			○	3～7	15	日本語能力、志望動機、学習意欲等
水産学部			○	3～6	20	日本語能力、志望動機、学習意欲等
共同獣医学部 ^{※3}			○	3～5	15	日本語能力、志望動機、学習意欲等

(注) 受験者数により「面接の形態」、「面接時間」を変更することがあります。

※1 医学部医学科では、受験者に「面接用作文」を作成させ(40分)、それらに基づき面接を行います。

※2 歯学部歯学科では、受験者に「面接用資料」を作成させ(作文、40分)、それらに基づき面接を行います。

※3 共同獣医学部共同獣医学科では、受験者に「面接用作文」を作成させ(30分)、それらに基づき面接を行います。

V 合否判定基準

合否の判定基準は下表のとおり行います。ただし、法文学部については、総合得点が同点の場合は、同順位とします。

学部	学科等		判定基準
法文学部	法経社会学科	法学コース	日本留学試験及び個別テスト等の成績の総合得点により順位付けを行い、全科目の総合得点が60%（600点）以上で、かつ「小論文」及び「面接」の各得点が60%（小論文60点、面接60点）以上である者のうちから、合否を判定します。
		地域社会コース・経済コース	日本留学試験及び個別テスト等の成績の総合得点により順位付けを行い、合否を判定します。
	人文学科	多元地域文化コース	日本留学試験及び個別テスト等の成績の総合得点により順位付けを行い、全科目の総合得点が60%（660点）以上で、かつ「小論文」及び「面接」の各得点が60%（小論文120点、面接60点）以上である者のうちから、合否を判定します。
		心理学コース	日本留学試験及び個別テスト等の成績に基づいて総合的に合否を判定します。
教育学部			日本留学試験の指定科目（日本語記述を除く）及び個別テスト等の成績の総合得点により順位付けを行い、「面接」及び「実技検査（中等教育コース：音楽、美術、保健体育のみ）」の各得点が60%以上である者のうちから、合否を判定します。
医学部医学科			日本留学試験及び個別テスト等の成績の総合得点により順位付けを行い、合否を決定します。ただし、面接の得点が配点の65%未満の場合、総合得点の順位にかかわらず不合格とします。
理学部、医学部保健学科、歯学部、工学部、農学部、水産学部、共同獣医学部			日本留学試験及び個別テスト等の成績に基づいて総合的に合否を判定します。